

ちちぶたどり



2026年 第353号

◆新年のご挨拶	次長 齋藤 晴美	2
◆ボランティアへの感謝状 職員表彰		3
【冬の行事】		
◆明治なるほどファクトリー 工場見学	療育支援課 けやき寮 津留 信久	3
◆焼き芋会	心理療法士 阿部 萌	4
◆資生堂ビューティーアップセミナー	地域支援課 仲川 正徳	4
◆秩父学園神社	作業療法士 戸川 鎮男	5
◆100万人のクラシックライブ	地域支援課 仲川 正徳	5
◆クリスマス&スイーツビューッフェ	管理栄養士 島田 結実	6
◆各寮の様子	かりん寮 岡崎恵美子	7
	けやき寮 今泉 千愛	7
	どんぐり寮 遠藤 信治	8
	くぬぎ寮 金 秀行	8
◆熊澤海道の「仲間探しの旅」	熊澤 海道	9
◆入所児童の動き・行事予定・編集後記	仲川 正徳	9

新年のご挨拶

秩父学園 次長 齋藤 晴美

新年あけましておめでとうございます。

保護者の皆さま、関係機関・地域の皆さまにおかれましては、日頃より秩父学園の運営及び支援に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和7年度より、国立障害者リハビリテーションセンターの第4期中期目標がスタートいたしました。本中期目標では、

- ①支援の難しい知的障害児に対する先駆的・総合的支援、
 - ②地域生活移行に向けた支援の充実、
 - ③職員派遣、研修等による支援ノウハウの普及
- の三つの柱を掲げており、重要な使命として取り組んでおります。

この一環として、強度行動障害のある児童を最長一年間の有期で受け入れる特別支援寮での支援を開始いたしました。集中的かつ専門的な支援を行うことで、すでに一名の児童が地域生活への移行を果たすことができました。これは、児童ご本人の学習の成果はもとより、ご家族や関係機関との丁寧な連携の成果であり、大きな一歩であると受け止めております。

今後は、特別支援寮に限らず、すべての生活寮において、秩父学園が地域生活へ向かうための通過施設であるという認識を改めて共有し、支援に取り組んでまいります。18歳到達前であっても、ご本人の特性理解が進み、地域での生活に向けた環境調整が整った段階で、柔軟に地域移行を進めていく考えています。

また、国が進める標準的な支援（障害特性の理解に基づく、原因の分析と環境調整を根拠とする集中的かつ専門的な支援）の考え方について、全職員が共通認識を持ち、日々の支援実践に反映させていくことが不可欠です。職員一人ひとりが学びを重ね、質の高い支援を提供できる体制づくりに努めてまいります。

さらに、秩父学園では公式Instagramを開設し、日々の活動や行事、学園の取り組みについて情報発信を始めました。学園の様子をより身近に感じていただければ幸いです。

今後とも、国立施設としての役割を果たすべく、職員一同力を尽くしてまいります。引き続き、秩父学園へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

秩父学園公式Instagram

国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局秩父学園

https://www.instagram.com/chichibu_gakuen.official/

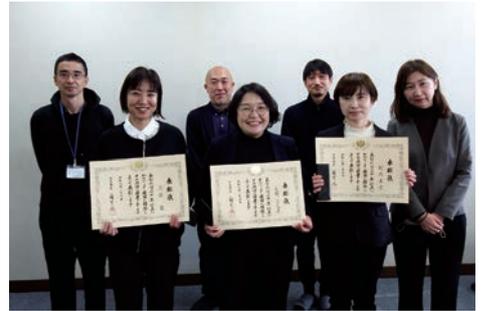


ボランティアへの感謝状 職員表彰

今年度も、多くの感謝状・表彰状の授与がありました。

厚生労働大臣より長年秩父学園のボランティアをしていただいている団体に、国立障害者リハビリテーションセンターにて、感謝状の授与式がありました。

また、職員の永年勤続30年1名、20年3名、社会福祉法人 全国社会福祉協議会会長表彰1名と昨年度に引き続き多くの表彰をいただきました。ボランティアの皆様、常日頃本当にありがとうございます。各職員の方々おめでとうございます。



冬の行事

今年度の冬休み期間は、たくさんの行事があり、児童の皆さんは楽しい、美味しい年末・年始を迎えることができました。そんな、行事を紹介いたします。

明治なるほどファクトリー 工場見学

療育支援課 けやき寮 津留 信久

1月6日に明治なるほどファクトリー坂戸のお菓子工場に社会科見学に行きました。行きの車内では、どのようなお菓子が作られているのか、車内で楽しそうにみんなで話していました。建物に入りま



ずは、ショーケースに入っている、いろいろなお菓子（昔のお菓子など）を見ながら、「このお菓子食べたことある」と楽しそうに話をしていました。見学では、生乳やカカオなどの原材料から、乳酸菌やチョコレートの研究開発、品質管理まで、明治が、安全や安心な物作りにこだわっていることを映像で学びました。

次に製造過程の見学に行きました。まずは板チョコ

から。板チョコの中に入ったような通路からは、明治ミルクチョコレートやツインクルチョコレートの製造ラインを間近で見学しました。「こんなふうに作られているんだ」とみんなで驚きました。さらにアポロ見学ラインでは、宇宙探検ツアーの世界観の中でなぞなぞにも答えながら製造の様子を見られてワクワクしました。最後に板チョコ、アポロ、グミをお土産にもらい、明治の板チョコが今年で99年目だと知って驚いていました。もらったお菓子は車内でみんなおいしく頂きました。とても充実し、楽しい外出でした。



焼き芋会

療育支援課 心理療法士 阿部 萌

1月7日水曜日に、学園の中にあるセンソリーガーデンで、焼き芋会を行いました。今年も、いつも学園の環境整備などを行ってくださっているボランティアのみなさまにご協力いただき、とてもおいしい焼き芋ができあがりました。学園内で集めた薪を燃やして炭を作り、その中でじっくり40分間焼き上げます。サツマイモは、しっとり甘い「紅はるか」と、栗のようにホクホクな「栗かぐや」の2種類を用意しました。大きな火を起こして炭を作ったり、赤



く燃える炭でさつま芋を焼いたりする様子は、ふだんなかなか見ることができないので、集まった児童たちは興味津々。

たき火を囲みながら、焼きたてあつあつの焼き芋を、児童も職員もみんな一緒にいただきます。「おいしい

ね」と言いながらみんなで食べる焼き芋は、特別に美味しく感じられました。また、今回はボランティアの方が姫リングを持ってきてくださっており、焼き芋と一緒に炭火の中で焼き上げた「焼きリング」も食べることができました。今回はじめて焼きリングを食べたという児童も



いましたが、柔らかくて甘く良い香りの焼きリングを気に入ったようでした。たくさんの児童たちが参加し、冬休み最後の日に良い思い出を作ることができました。焼き芋会のために、センソリーガーデンの環境整備、薪集め、当日の焼き芋作りなど、たくさんご協力をいただいたみどりの応援隊のみなさまに、深く御礼申し上げます。

資生堂ビューティーアップセミナー

地域支援課 地域支援主事 仲川 正徳

1月9日に資生堂ジャパンが「自己プロデュースを強みに」と題し、全国の社会福祉事業者を対象に行われているビューティーアップセミナーを秩父学園でも開催しました。昨年度も申し込みをしていたのですが、感染症の影響で中止となり、本年度初めての開催になりました。当日は、ちょっとおしゃれ



をしたい女子児童や美意識高い男子児童が参加しての開催となりました。特に男児は、顔に美容液パックをし

たり、薬用スカルプトニックを付けたり、初めての経験をたくさんしました。女子はさすが、パフを使い、ブラシでチーク施したりお化粧品はお手の物、上手にメイク出来ていました。

全てが終わると、皆の顔が明るく、晴れやかになっていました。資生堂の皆様、ありがとうございました。



秩父学園神社

療育支援課 作業療法士 戸川 鎮男

今年も学園内に期間限定神社を設置しました。園内にあった廃材で作った小さな神社です。築山と呼ばれる園内の小高な場所に設置しました。おみくじや小さな鳥居などは、児童に作ってもらったものです。大きな鳥居の設置など大がかりな作業もありますが、スーパー職員（何でもできる！）のお力添えで、形にすることができました。

鳥居をくぐって斜面を登っていくと頂上に社が置いてあります。手水舎（のような鉢）で清め、お賽銭（どんぐり）を賽銭箱に入れて、廃カーテンで編まれた鈴緒を振り、お参りします。これだけでも環境の神様からの御利益がありそうでしょうか？そして

ベンチで一休みしながらおみくじを引くのです。築山の上からは普段皆が暮らす場所がよく見えます。綺麗な空と小鳥たちの声に癒やされる空間がそこにあるのですが、元気な児童達と一緒に、どうだったでしょうか？

季節や文化、そこから生まれる作業や活動も含めて大切にしていきたいものですね。

さあ、来年はどこにだそうかなあ…。



100万人のクラシックライブ

地域支援課 地域支援主事 仲川 正徳

子どもたちに「音楽を届ける」プロジェクトとして本年は、外部の施設の方々を招待してのライブを開催させていただきました。学園の児童は、準備の飾り付けをしているところをのぞきにきて「なにをするの？」などとても興味がありそうな児童も見受けられました。当然その児童も参加してくれています。ライブがスタートし、バイオリン、ピアノが音楽を奏でた瞬間に、子ども達の顔色が変わったのがわかりました。満面の笑みを浮かべる子、音の迫りにびっ



くりした表情の子など。どちらかという、後者の方が多かった様な気がしません。また、普段はじっと座ってられない子ども達の中にも、



今日はずっと着席して音楽に親しむ事が出来ていた子どももいました。

そんな姿を支援者として見られて、嬉しい反面少し嫉妬してしまいました。演奏家のお二人もおっしゃっていましたが、「MCの時よりも演奏している時の方が、食いつき度が違ったね」と本物の音楽に触れる機会が持てて、皆も楽しかったと思いますし、我々も良かったという思いです。

1人の児童に「すごかった？」と尋ねると、目を輝かせて「すごかった！」と感想を言ってくれました。本日は、車椅子で参加して下さった児童の方々も多く、中々生の演奏を聴く機会がない児童にとって、本当に良い機会になったと思います。

クリスマス&スイーツビュッフェ

管理栄養士 島田 結実

冬休みの食育活動として、クリスマスと年明けに給食主催でビュッフェを開催しました。例年は児童に作りたい料理をアンケートでお聞きし、実際に一緒に作ってみるクッキング体験をしているのですが、クッキングに参加できる児童は限られてしまうため、出来るだけ沢山の児童が参加できる食育を！と今年度は『自分で選ぶ経験』と『楽しい食体験』に重きを置いて考えました。クリスマスはランチをビュッフェ形式にし、寮の垣根を越えて職員食堂でのパーティーです。児童の好きなピザやチキン、ケーキを数種類用意し、その中から選んでいただきました。好きな物が沢山並んでいるのを見て児童はどんな反応をするのか、準備の段階からこちらもワクワクです。当日に選ぶ事が難しい児童もいるため、事前に写真



付きのメニュー表をお渡ししました。大勢の人がいる場では落ち着いて食べられない児童は、会場で好きな食べ物を選んで寮に持ち帰り食べる等、児童のニーズに合わせた様々な参加方法を準備しての

開催です。当日は、給仕職員はスーツ姿にサンタ帽、会場もクリスマス仕様に飾り付けて雰囲気を盛り上げました。ローストビーフは食べたい枚数を伝え、調理師が目の前でカットする本格派です。会場では違う寮の児童が同じテーブルに座り笑顔で団らんする



姿が見られたり、いつもは食べない野菜を食べて職員を驚かせる児童、寮に持ち帰って食べる予定だった児童が楽しい雰囲気に惹かれて会場で食べられたりと各々楽しんでくれたようでした。年明けはお楽しみイベントとして、おやつタイムにスイーツビュッフェを開催しました。沢山並んだ色鮮やかなケーキを目の前に児童の目がキラキラと輝き自然と笑みがこぼれます。何度も吟味し時間をかけて選ぶ児童や、自分の好きなものを端から選んでいく児童等、選び方にも個性が表れていました。食事を通して様々な経験が出来るよう、これからも多角的な食育活動を展開していきたいと思います。





各寮の様子 冬休みを満喫



かりん寮



寒さが本格的になってきましたが、児童5名、体調を崩すことなく元気いっぱいです。

かりん寮恒例の壁画装飾では、児童と職員と一緒に飾りつけをして、冬の季節を感じています。年末年始といえば、「お楽しみ活動」が盛りだくさん。ランチバイキング、スイーツパーティー、スイーツビュッフェ、豪華なクリスマスメニュー（食べる系ばかりですが笑）に、溢れる笑顔が印象的でした。2026年1月1日かりん寮は穏やかに新しい年を迎え、かりん寮を代表し、児童2名と職員2名で櫻木



神社へ初詣に行ってきました。神様にお手紙（願い事）と可愛いお賽銭（5円玉にリボンをつけました）を大事に握りしめて、いざ、出発。神社の前に来ると緊張感で固い表情でしたが、一人一人静かに手を合わせ、神聖な気持ちでお参りができました。これで、今年のかりん寮は「きっとウマくいく」ですね。

冬の行事の定番「福笑い」「書き初め」「焼き芋大会」も、はりきって参加したり、少し離れた場所から見たり。それぞれのペースで楽しみました。学校生活は3学期が始まり、冬休み同様、元気いっぱい登校しています。この冬の寒さに負けず、季節の移り変わりを感じながら、かりん寮一同、笑顔の多い毎日を過ごしていきたいと思います。



岡崎 恵美子

けやき寮



冬の一大イベントであるクリスマスは、焼き肉パーティーを開催しました。寮のみんなでホットプレートで囲み、お腹いっぱいお肉を食べました。食後にはクリスマスらしくケーキも食べ、豪華な夕食となりました。サンタさんにもプレゼントをもらい、笑顔がたくさん見られました。無事に2026年を迎え、寮内では「福笑い」に挑戦しました。目隠しをしながらパーツを並べていくという慣れない動きに「どうやるの?」と戸惑いが見られる場面もありましたが、ルールがわかると次々にパーツを並べ始め、顔を



を完成させていました。個性溢れる顔が並び、「なにこれ〜!」と笑い声も聞かれました。次の

日には、初詣にも行きました。順番に鈴を鳴らし、手を合わせお願い事をしていました。おみくじを引いて「見てー!」と結果を教えてくれる児童もいれば、静かにじっくり内容を読み持ち帰る児童とさまざまな反応が見られました。2日に今年の初雪が降りました。久しぶりに見る雪に心躍らせる児童と、恐る恐る近づく児童がいました。雪の上を歩いてみたり、触ってみたりしました。「冷たい。」と言いつつも、感触を楽しんでいました。気がついたら雪が溶けていた、と言う児童もいました。次は見られるように、「また降ったら見に行く。」と今から楽しみにしているようです。新たな年度に向けた準備も始まる3学期ですが、下校すると毎日元気に「ただいまー!」と言ってくれるけやき児童たちです。



今泉 千愛

どんぐり寮



冷たい風を感じる季節となりましたが、どんぐり寮の児童は元気に過ごされています。どんぐり寮では、児童一人ひとりペースを大切にしながら、安心して過ごせる時間を重ねています。今月も日々の様子をお届けします。

お楽しみ夕食パーティーでは、児童の皆さんが楽



しみにしていたハンバーガーやポテトを味わいました。普段とは少し違う特別な食事の時間となり、写真には、穏やかな雰囲気の中で過ごす様子が

収められています。それぞれのペースを大切にしながら食事の時間を過ごしました。

お正月にはお菓子パーティーを行いました。自分



の気持ちや欲しいものを言葉で伝えることが難しい児童も、写真やイラストを使いながら「これがほしい」と教えてくれました。視覚

的な手がかりを活用することで、自分の意思を表現する経験につながっています。

日々の活動では、ボールプールやトランポリン、ブランコなどを取り入れ、体を動かしながら楽しめる時間を大切にしています。一人ひとりの状態や興味に合わせた関わりを通して、安心して活動に取り組めるよう環境づくりを行っています。今後も、個々のペースを尊重しながら、安心できる環境を提供していきたいと思います。より充実した時間を過ごせるよう支援していきます。

遠藤 信治

くぬぎ寮



くぬぎ寮では、沢山のイベントが開催されました。児童たちも各々のイベントにとっても楽しそうに参加していました。笑顔があふれる賑やかな冬の思い出となりました。簡単にですが、冬の思い出を振り返って報告したいと思います。

くぬぎ寮のクリスマス会は、二日間にわたって開催されました。12月24日には、クリスマスイブの夕食会をしました。パエリア、ピザ、ケーキ等の児童たちが好きなメニューのオードブルを注文してとても豪華な夕食となり、お腹一杯クリスマスディナー



を楽しんでいました。25日にはクリスマス会でプチゲームを行いました。ゲームは、3種

類準備して（ボールビンゴ、パターゴルフ、数字タッチゲーム）、各々のゲームを各児童が挑戦しました。笑顔で真剣にゲームに取り組んで、景品もとてもうれしそうに受け取っていました。

年が明けて新年には、築山にできた秩父学園神社に初詣に行ったり、おみくじを引いたり、食堂でパフェを作って自分で食べたいものを選んで、盛り付けて楽しみました。パフェの盛り付けが完成すると、「自分でできた」と嬉しそうな表情をしていました。他にも、お楽しみディナーで、ハンバーガー専門店で購入した特大ハンバーガーを、各児童がソースをほっぺにつけながらもおいしそうに食べていました。

沢山のイベントで少し食べ過ぎだったかもしれませんが、それは冬の楽しみとして良い思い出となりました！！

金 秀行





熊澤海道の「向かい風 反対向けば 超追い風！」

仲間探しの旅

国立障害者リハビリテーションセンター病院 歯科医師 熊澤 海道

明けまして熊澤です。本年も何卒よろしくお願いたします。

これだけは言わせてください、今年はドラゴンクエスト40周年です(笑)。ドラゴンクエストとは、得意なことが違う仲間達と共に世界を救うため、目標に向かって旅にでるといふ熊澤の大好きなゲームです。

以前、他職種の方々とお話をしていた時に「(働いている) 施設で色々訴え続けてるけど、協力が得られず孤軍奮闘状態です(看護師さん)」や「20年勤めてるけどまだ仲間探しの旅の途中です(支援員さん)」といったお話を耳にしました。また、「協力してくれる仲間が見つかったらすごく運が良いよね」なんて言葉も聞かれました。

意外と同じような状況は少なくないのでは?とその話を聞いた時に感じました。

支援の現場は福祉、教育、医療と各々専門性のある職種が関わっており、もちろん職種間に上下や序列などありません。しかし、うまくかみ合わない時には、もしかしたら「無意識ヒエラルキー」みたいなものがあるのではと考えたりもします。

専門性があるからこそ「批判・口論」ではなく「対話・議論」をしたいし、同じ対象となる方の生活に関わるのだから「この職種が中心」ではなく「各々場面ごとに司会者・パネラーが変わっていく」ように【対等】に話し合うことができれば自然に「連携」となるのではないかと熊澤は考えています。

公私ともに対等に歩んでいける仲間を探せたらとっても素敵だなと思う今日この頃です。

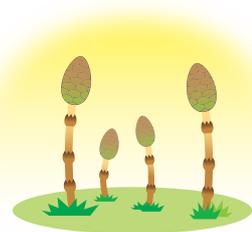


行事予定

- 2月 研修報告会・虐待防止 身体拘束適正化委員会
- 3月 事例報告会・新任職員年間まとめ
- 3月11日 所沢特別支援学校小学部卒業式
- 3月12日 所沢特別支援学校中学部卒業式
- 3月13日 入間わかくさ高等特別支援学校卒業式
- 3月25日 お花見

❖入所児童の動き

12月に男児1名入所しました。



編集後記

新年早々に、「こどもが生まれました」と報告いただき、とても嬉しい気持ちになりました。子どもの誕生とても素敵な事ですが、その日一番頑張ってくれた、お母さんに感謝感謝ですね。(仲)

発行日 令和8年3月3日
 発行 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 秩父学園
 住所 埼玉県所沢市北原町860 TEL 04-2992-2839
 FAX 04-2995-2253
 chousa-chichibu@mhlw.go.jp https://www.instagram.com/chichibu_gakuen.official/

公式
Instagramは
こちら!



《秩父学園児の歌》



一、わかばゆれ

ひかりかがやく

むさしのに

のびゆくわれら

ちちぶがくえんじ

われらわれら

ちちぶがくえんじ

二、ふじのみね

たかくそびえて

みそらすみ

いそしむわれら

ちちぶがくえんじ

われらわれら

ちちぶがくえんじ

